

## 第2章 介護予防の取組と生活支援の展開

### 施策2-1 介護予防の取組〔重点〕

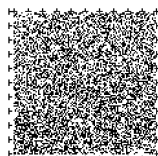
#### 施策の方針

- 健康寿命の延伸やQOL（生活の質）向上のため、積極的な介護予防に取り組みます。
- 介護予防を進めるに当たって、「10の筋力トレーニング」をはじめとした運動機能の維持・回復の視点に加え、栄養や社会参加の側面にも着目した幅広い支援・施策を展開していきます。また、生活機能全体の向上、趣味・生きがい等を持てる生活環境・地域づくりの促進にも取り組みます。
- 高齢者が身近な場所で健康づくりに参加でき、必要に応じて適切な医療サービス等になげられるよう、高齢者保健事業・介護予防一体的実施事業を推進していきます。また、専門職や関係機関と連携し、リハビリテーションが計画的に提供される体制づくりに取り組みます。

#### 【評価指標】

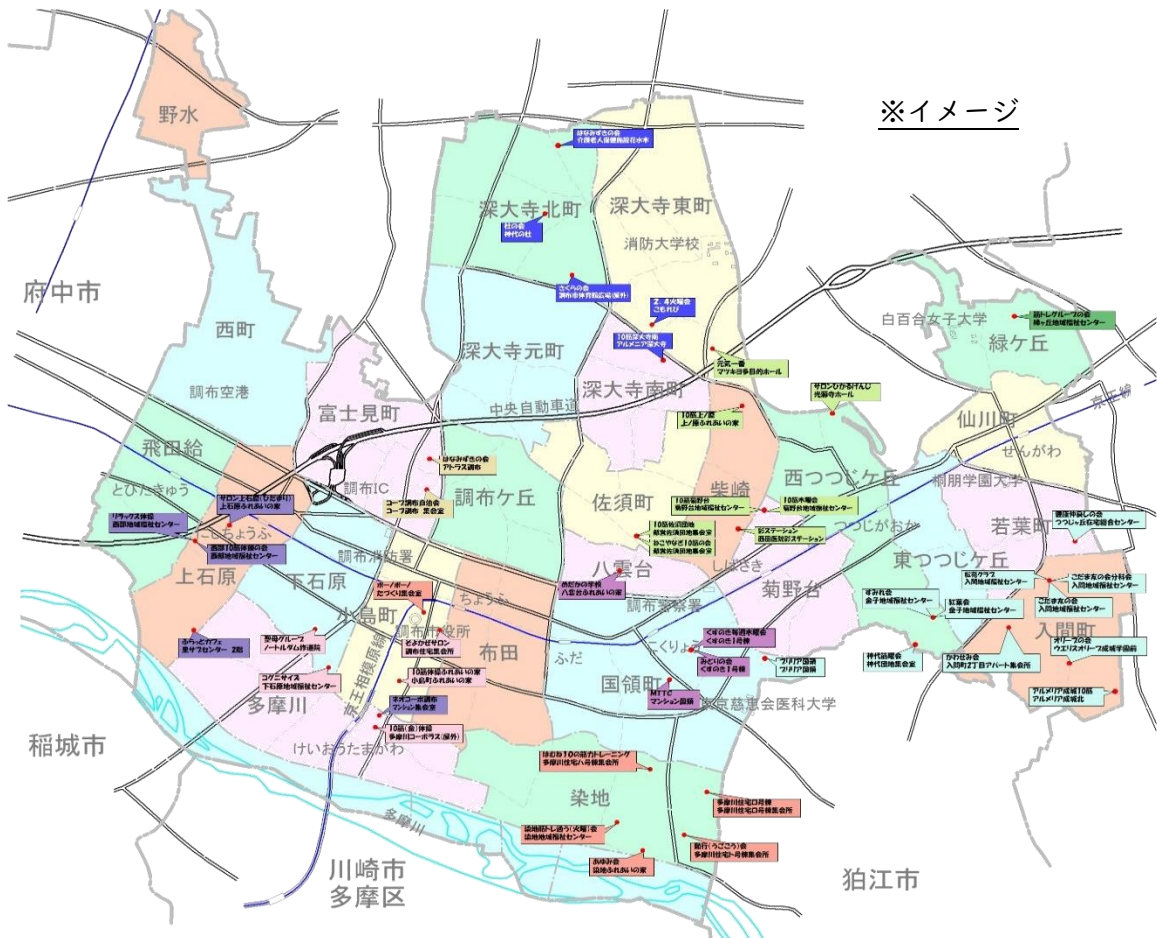
指標	実績値		目標値
	令和元年度	令和4年度	第9期計画期間中
フレイル予防に取り組んでいる・取り組む意思のある方	—	59.2%	65%
地域等の活動に参加している方 (就労含む, 週1以上)	45.4%	44.1%	50%
ハイリスクアプローチ	—	43人	70人/年
ポピュレーションアプローチ	—	16か所・145人	8か所・80人/年

施策名	(1) 活動場所・グループへの支援
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業（知って活かそう介護予防，ステップアップ教室，介護予防講演会）や介護予防普及啓発事業（65歳からの健康づくり健診，地域リハビリテーション活動支援事業）を効果的に開催します。また，健康づくりに関する事業を展開する関係部署，関係機関・団体と情報共有を図り，効果的・効率的な普及啓発に努めます。</li> <li>・フレイルの要因として，「運動」の他に「栄養」や「孤立」が影響を及ぼすことから，摂食嚥下や社会参加の視点を介護予防に取り入れます。その際，地域包括支援センター等と連携し，必要な支援・資源の開発，マッチング等に努めます。</li> </ul>

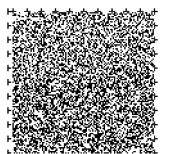


概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所で参加できる多様な居場所（通いの場，自主グループ，サロン等）づくりについて，地域支え合い推進員や民間企業等の協力の下，活動の活性化や市民・地域のニーズに即した立ち上げ支援を行います。</li> <li>・関係部署と連携・協力し，高齢者が個々のペースで運動（スポーツ）に親しむ取組・楽しむ機会の推進・提供に努めます。</li> </ul>
----	---

【10の筋カトレーニング グループマップ】 令和5年10月現在 46グループ



施策名	<b>(2) 自立支援・重度化防止の推進</b>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者保健事業・介護予防一体的実施事業について，KDBシステム<sup>†</sup>等を活用した課題の抽出を進めるとともに，関係部署と連携して生活習慣病等の疾病予防や重症化予防に効果的に取り組む体制の充実を進めます。</li> <li>・通いの場や自主グループ等において，専門職や民間企業等の知見・資源等を活かしながら，高齢者の状態把握やフレイル等の早期発見・アウトリーチ<sup>†</sup>，生活機能の低下防止等に資する事業に取り組みます。</li> <li>・ケアマネジャーやリハビリ専門職等と連携し，福祉用具や住宅改修等に関する専門的な相談支援や研修の充実，地域ケア会議等との連動に努めていきます。</li> </ul>



## 施策2-2 生活支援の展開〔重点〕

### 施策の方針

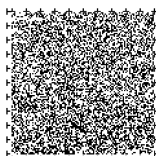
- 更なる高齢者の増加や生産年齢人口の減少等を見据え、介護・医療等の専門的なサービスに加え、地域のつながりである「互助」の強化による生活支援の充実を図ります。
- 多様化する支援ニーズや複合的な問題を抱える高齢者の増加に対し、地域住民・団体、ボランティア、NPO、民間企業、関係機関等の活力・資源を活かしながら、幅広い生活支援の提供を展開します。また、新たなサービスの担い手として期待される若年層や地域とのつながりが希薄になりがちな男性等も巻き込みながら、多様な高齢者の活躍の場の提供を進め、地域・高齢者のニーズに即した支援・活動を実現していきます。
- 各福祉圏域に配置された地域支え合い推進員を中心とした地域活動の活性化・立ち上げ支援、ニーズ把握・資源開発、ネットワークの構築を推進します。また、常設通いの場の充実にも努めていきます。

#### 【評価指標】

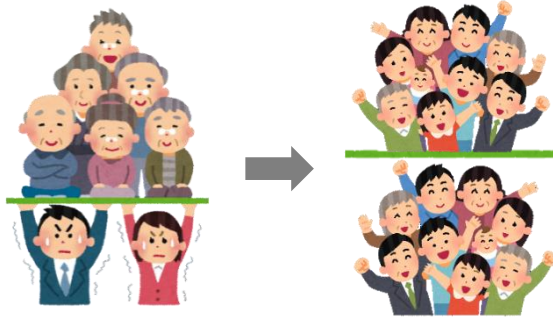
指標	実績値		目標値
	令和元年度	令和4年度	第9期計画期間中
地域支え合い推進員の認知度	6.7%	7.2%	12%
常設通いの場（累計）	—	4か所	5か所
地域活動等への参加割合 （月1以上、就労含む。）	55.4%	53.9%	60%
セカンドライフ応援キャンペーン 協賛企業・団体数（累計）	83団体	104団体	120団体

施策名	(1) 地域支え合い推進員の活動充実
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層（市全域）・第2層（福祉圏域）が相互連携し、既存活動や新たな住民主体による活動設立を伴走支援するとともに、地域福祉コーディネーター<sup>+</sup>（CSW）や地域包括支援センター、地域住民・団体、民間企業等との協働を促進し、地域に根差した活動や周知をより一層推進します。</li> <li>・関係（民間）団体等が持つ柔軟な発想・蓄積されたノウハウ等を活用・共有しながら、新たなサービスの担い手の発掘・育成、高齢者等が生きがいや楽しみを感じながら活動できる場・環境の整備を進め、地域課題の解決やニーズに即した活動を展開します。</li> <li>・誰もがいつでも気軽に立ち寄れる「常設通いの場」の充実を図ります。</li> </ul>

施策名	(2) 協議体 <sup>+</sup> の整備及び拡大
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層協議体のセカンドライフ応援キャンペーン運営検討会や第2層協議体について、円滑な情報共有・連携、地域課題の把握・解決に資するネットワークづくりを推進していきます。</li> </ul>



【地域支え合い推進員の役割と活動】



「支える人」・「支えられる人」の枠組みから、お互いに「支え合う」仕組みへ

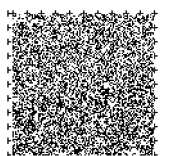
地域住民・団体、企業等を巻き込みながら、それぞれの強み・良さを活かし、各地域の特徴や希望・ニーズ等に合わせて展開中

【セカンドライフ応援キャンペーン】

企業・地域団体等が独自に行う支援・サービス・活動等を集約・公表するキャンペーン  
特に近年では、企業の社会的責任<sup>†</sup>（CSR）を果たすために、幅広い社会貢献活動が行われており、同キャンペーンはこれらの多様な取組を見える化し、地域の困りごとやニーズとのマッチング、企業と地域の橋渡しが期待されている。



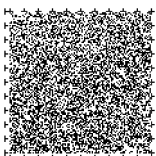
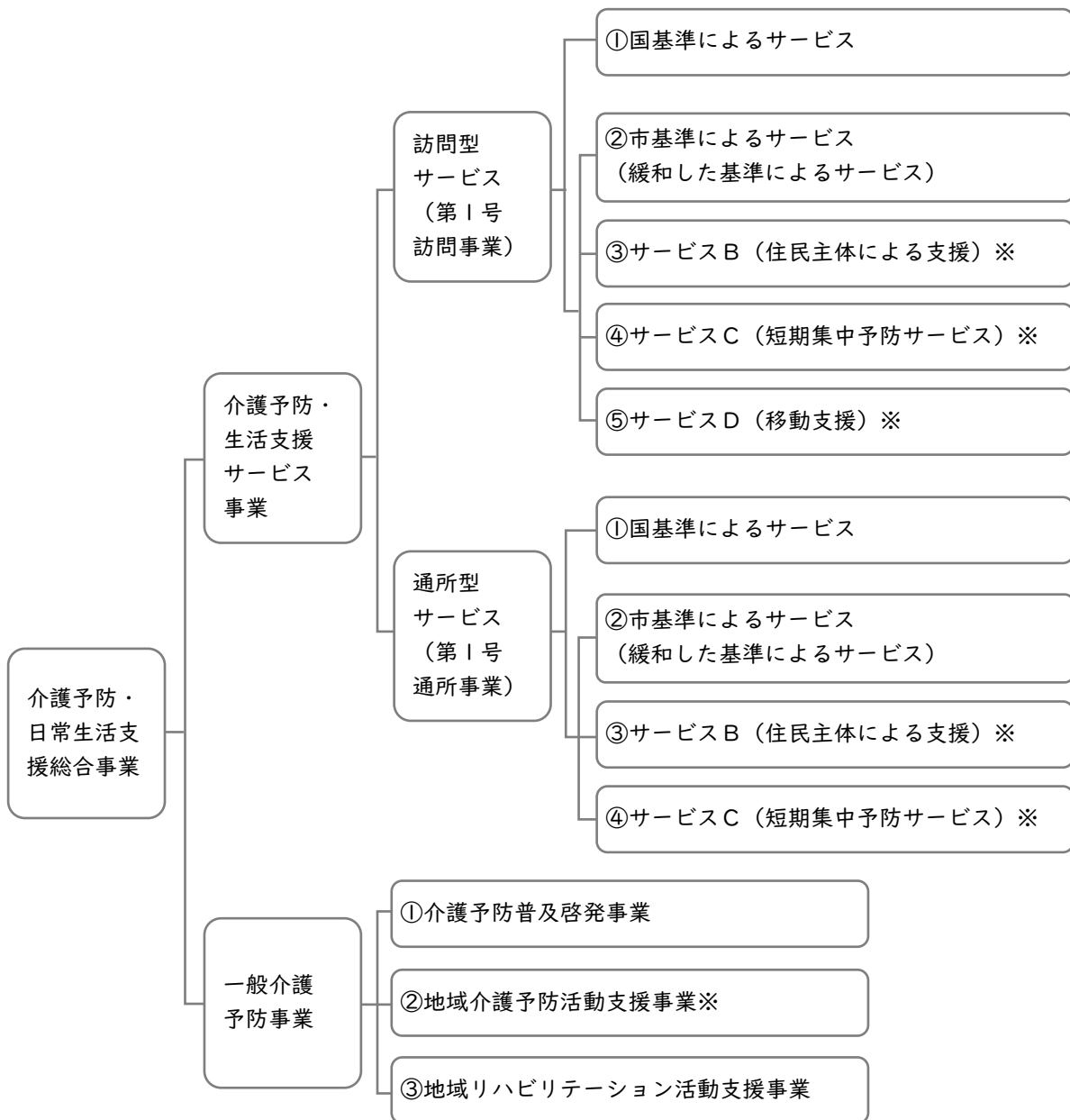
施策名	(3) 高齢者の社会参加による介護予防や住民主体の支援活動等の推進
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加が少ない方や様々な事情により孤立・孤独に陥っている方へのアプローチの一環として、民生委員・児童委員や広報協力員等と協力して適切な支援や活動等につなげます。</li> <li>・セカンドライフ応援キャンペーンを通じて、地域団体・民間企業との協働促進、幅広い活動の場の提供を推進します。</li> <li>・ゆうあい福祉公社，社会福祉協議会等と連携し，住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充，ボランティア等の人材発掘を支援します。</li> <li>・シルバー人材センター等を通じた就労環境の整備，庁内関係部署等と連携した生涯学習・文化スポーツ活動等の充実を図り，元気高齢者の活躍・生きがいづくりを促進します。</li> <li>・ボランティアポイント等の導入・活用について，先行自治体への調査や関係部署との協議・検討を進めます。</li> </ul>



施策名	<b>(4) 総合事業の実施</b>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存、新規事業ともに、地域住民・団体の意向を十分にくみ取りながら、新たな活動の枠組みとなるサービスB・Cの可能性や有効性等を含め、今後の事業展開について検討していきます。</li> <li>・ 高齢者の自立支援の促進や適切な支援サービスが包括的・効率的に提供されるよう、介護予防ケアマネジメントの充実を図ります。</li> <li>・ 福祉人材確保の一環として、家事援助ヘルパー<sup>†</sup>の養成・登録を進めていきます。</li> </ul>

【調布市介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）<sup>†</sup>の構成】

※現在検討中のため未実施



【介護保険サービス・一般施策サービス・インフォーマルサービスのイメージ図】

